

| | |
|------------------|---|
| 管轄森林管理局・署 | 関東森林管理局 茨城森林管理署 |
| 所在地 | 茨城県 久慈郡 大子町 |
| 面積 | 29.49ha |
| 設定年 | 1969(S44)年 |
| 保護林の概要 (設定目的) | 茨城県内随一の温帯性落葉広葉樹林が広がり、県内では唯一ここでしか見られないダケカンバの群落がある。また、阿武隈山地に分布しているオヤリハグマの南限であり、八溝山はツガの北限になっている。このため、冷温帯性落葉広葉樹林の代表種であるブナ、ミズナラ、冷温帯に降下しているダケカンバの生育する希少な個体群を保護するため設定する。 |



モニタリング調査概要

| | |
|------|--|
| 実施年度 | 2007年、2012年、2017年、2022年 |
| 調査項目 | 樹木の生育状況調査、林床植生の生育状況調査等 |
| 調査手法 | 森林詳細調査として、高木層にブナ、ミズナラ等の冷温帯性の種が生育する林分において調査プロットを計2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握。森林生態系多様性基礎調査の結果も活用。 |
| 結果概要 | 森林調査について、冷温帯性林を構成するブナやミズナラに鳥獣害や病虫害は確認されていないが、老齢で樹勢が衰退傾向にある立木が多く、次世代を担う実生や稚樹が確認されなかった。 当保護林周辺の地域はニホンジカ生息分布のフロントラインといわれているため、ニホンジカによる影響に留意する。 |

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。